



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日
東

上場会社名 藤倉ゴム工業株式会社 上場取引所
 コード番号 5121 URL <http://www.fujikurarubber.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中 光好 (TEL) 03-3527-8111
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 神山 幸一
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,848	4.2	1,136	18.0	1,178	△8.8	837	△27.4
27年3月期第3四半期	21,936	4.7	963	△1.5	1,292	△11.6	1,153	△62.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 819百万円(△30.0%) 27年3月期第3四半期 1,170百万円(△67.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	35.79	—
27年3月期第3四半期	49.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	32,816	23,239	70.8
27年3月期	32,546	22,700	69.7

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 23,239百万円 27年3月期 22,700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年3月期	—	6.00	—		
28年3月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	1.8	1,400	21.7	1,600	5.1	1,100	△17.1	47.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	23,446,209株	27年3月期	23,446,209株
28年3月期3Q	48,919株	27年3月期	48,866株
28年3月期3Q	23,397,318株	27年3月期3Q	23,397,343株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の緩やかな回復基調が見られたものの、円安による輸入コストの増加、新興国経済の下振れリスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、平成27年7月に当社原町工場（福島県南相馬市）内にゴルフシャフトの製造棟を改築し稼働しており、また連結子会社安吉藤倉橡膠有限公司（中国・浙江省）において第二工場を建設中です。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は228億4千8百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は11億3千6百万円（前年同四半期比18.0%増）、経常利益は11億7千8百万円（前年同四半期比8.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億3千7百万円（前年同四半期比27.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 産業用資材

工業用品部門は、引き続き海外において自動車関連部材の売上が好調だったものの、国内においては生産量が減少したため増収減益となりました。制御機器部門は、国内外において液晶・半導体関連製品及び産業機械向け製品の受注が好調に推移したため増収増益となりました。電気材料部門は、電力・電子関連製品の受注が増加し、更に生産性の改善に努めたことにより僅かながら増収増益となりました。

この結果、売上高は143億3千1百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は9億1千6百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

② 引布加工品

引布部門は、自動車関連製品の受注が低迷したため減収減益となりました。印刷機材部門は、国内での拡販が進み、受注が増加したため増収増益となりました。加工品部門は、舶用品の輸出が増え増収となったものの、品種構成の変化により減益となりました。

この結果、売上高は33億2千6百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は1億5千1百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

③ スポーツ用品

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、新製品『Speeder EVOLUTION II』、及び『MCI』の販売が好調に推移していることにより増収増益となりました。アウトドア用品部門は、為替の影響及び自然環境の変化によりシューズ等の販売が減少したことで減収減益となりました。

この結果、売上高は47億9千7百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益は3億9千4百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

④ その他

物流部門は、荷動きが低調になったことにより売上及び利益とも減少となりました。

この結果、売上高は3億9千2百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は5千2百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円増加の328億1千6百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億6千9百万円減少の95億7千6百万円となりました。純資産につきましては、232億3千9百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の69.7%から70.8%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を
資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更して
おります。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定に
よる取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法
に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、
前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来
にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用)

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成27年3月
26日)を第1四半期連結会計期間から適用し、本実務対応報告に定める経過的な取扱いに従って、在外子会社
FUJIKURA GRAPHICS, INC. が平成26年1月に改正されたFASB Accounting Standards CodificationのTopic 350「無
形資産-のれん及びその他」に基づき償却処理を選択したのれんについて、連結財務諸表におけるのれんの残存償
却期間に基づき償却しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,940,790	5,053,923
受取手形及び売掛金	8,626,422	8,734,128
有価証券	400,000	—
商品及び製品	2,069,159	2,237,235
仕掛品	2,096,376	2,287,286
原材料及び貯蔵品	622,888	577,421
その他	1,254,968	819,399
貸倒引当金	△22,563	△22,686
流動資産合計	19,988,043	19,686,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,832,135	4,056,277
機械装置及び運搬具(純額)	2,849,971	2,890,354
土地	3,185,468	3,185,204
建設仮勘定	467,337	571,853
その他(純額)	285,754	385,000
有形固定資産合計	10,620,668	11,088,689
無形固定資産		
ソフトウェア	73,580	80,163
その他	231,628	267,456
無形固定資産合計	305,209	347,619
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,695,422	1,768,134
貸倒引当金	△63,012	△75,149
投資その他の資産合計	1,632,410	1,692,985
固定資産合計	12,558,287	13,129,294
資産合計	32,546,330	32,816,001

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,689,522	2,530,073
短期借入金	3,590,907	3,951,292
未払法人税等	59,553	113,724
賞与引当金	328,677	102,228
その他	1,359,225	1,347,719
流動負債合計	8,027,886	8,045,038
固定負債		
長期借入金	250,000	5,000
環境対策引当金	33,738	33,738
退職給付に係る負債	804,906	675,260
資産除去債務	20,800	20,800
その他	708,275	796,457
固定負債合計	1,817,720	1,531,255
負債合計	9,845,606	9,576,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	14,110,384	14,667,065
自己株式	△20,084	△20,120
株主資本合計	21,107,082	21,663,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334,992	366,755
繰延ヘッジ損益	△138	224
為替換算調整勘定	1,460,218	1,308,408
退職給付に係る調整累計額	△201,431	△99,410
その他の包括利益累計額合計	1,593,641	1,575,978
純資産合計	22,700,724	23,239,707
負債純資産合計	32,546,330	32,816,001

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,936,182	22,848,213
売上原価	16,755,125	17,305,898
売上総利益	5,181,057	5,542,315
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	302,405	328,498
給料及び手当	1,452,056	1,513,862
賞与引当金繰入額	27,008	24,850
退職給付費用	81,179	71,634
減価償却費	96,945	102,477
研究開発費	471,976	511,508
その他	1,786,094	1,853,115
販売費及び一般管理費合計	4,217,665	4,405,948
営業利益	963,391	1,136,366
営業外収益		
受取利息	16,622	14,212
受取配当金	29,294	43,109
受取賃貸料	25,362	29,833
為替差益	213,085	—
補助金収入	55,862	20,233
その他	82,296	68,751
営業外収益合計	422,524	176,139
営業外費用		
支払利息	17,486	16,279
賃貸収入原価	8,233	10,051
為替差損	—	14,331
その他	67,292	92,864
営業外費用合計	93,012	133,526
経常利益	1,292,903	1,178,980
特別利益		
退職給付制度改定益	86,772	—
受取補償金	243,673	—
特別利益合計	330,446	—
特別損失		
関係会社株式評価損	30,218	—
特別損失合計	30,218	—
税金等調整前四半期純利益	1,593,130	1,178,980
法人税、住民税及び事業税	268,113	182,076
法人税等調整額	171,120	159,454
法人税等合計	439,233	341,531
四半期純利益	1,153,897	837,449
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,153,897	837,449

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	52,574	31,762
繰延ヘッジ損益	△289	362
為替換算調整勘定	△51,032	△151,809
退職給付に係る調整額	15,489	102,020
その他の包括利益合計	16,741	△17,662
四半期包括利益	1,170,638	819,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,170,638	819,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	13,611,249	3,478,813	4,451,763	394,356	21,936,182	—	21,936,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	95,845	95,845	△95,845	—
計	13,611,249	3,478,813	4,451,763	490,201	22,032,028	△95,845	21,936,182
セグメント利益	750,982	141,564	368,751	52,552	1,313,850	△350,458	963,391

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去287千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△350,746千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	14,331,883	3,326,303	4,797,957	392,069	22,848,213	—	22,848,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	87,709	87,709	△87,709	—
計	14,331,883	3,326,303	4,797,957	479,779	22,935,923	△87,709	22,848,213
セグメント利益	916,198	151,825	394,704	52,087	1,514,815	△378,448	1,136,366

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去300千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△378,748千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。